



相模原市立千木良小学校 学校だより

# 千木良小だより

自ら学び 心豊かに 生きる子の育成

令和8年7月17日 No.5



## つながる ～自分からつながれ！夏休み～

学校長 門倉 恭子

左の写真、どこだかわかりますか？

今、これを読んでいる方の中に、「お～懐かしい！」と思われる方もいるかもしれません。これは、今から55年くらい前に撮影された、千木良小の校門前の写真です。



7月26日（日）の「相模湖・ダム建設殉職者合同追悼会」に、3～6年生19名が学校を代表して参加し、合唱曲「ビリーヴ」を披露することになっています。その会には、津久井やまゆり園のクリスマスコンサートで、いつも素敵な歌を聴かせてくださる、歌手の雨宮知子さんも出演します。その雨宮さんの歌のピアノ伴奏をするのが飯嶋

理恵子さんという方なのですが、「できれば、千木良小の『ビリーヴ』の伴奏もしていただけませんか…？」とお願いしてみたところ、快く引き受けてくださったのです。先日、実際に飯嶋さんに学校に来ていただき、「ビリーヴ」の伴奏を弾いていただいたのですが、子どもたちの合唱がさらに素敵になったことは言うまでもありません。当日、どうぞお楽しみにしてください。

話がそれてしまいましたが、実は、55年前の千木良小の写真を見せてくださったのは、その飯嶋さんなのです。なんと！飯嶋さんのお母様は、55年前に千木良小学校で教員をしていたというのです。先生のお名前は、「高木美根子さん」です。「お～懐かしい！高木先生だぁ～。」という声も聞こえてきそうです。（門倉リサーチによると、ここに写る子どもたちは、現在62歳くらいの方々ですよ。）



「伴奏をお願いできないでしょうか…。」副校長と教務のアイデアと思い切ったひとことでつながったこのご縁。自ら声を発しなければ、生まれないうつながりであったと思います。この一本の糸のようなつながりが高木先生とつながり、千木良小ともつながり…もしかしたら、55年前の卒業生にもつながっていくかもしれません。

\*\*\*\*\*

明日7月18日（土）から、いよいよ夏休みが始まります。8月24日（月）までの38日間です。

自分で考えて、自分で行動できるよい機会です。

普段の生活の中ではできないことにもチャレンジできる最高の期間です。

嫌いと思っていたこと。

「自分には無理！」と避けていたこと。

あきらめていたこと。

一歩踏み出して、新しいつながりを作ってみましょう。

新しい自分を発見してみましょう。



そんなチャレンジを「親子」でやってみる。どうぞ、充実した夏休みをお過ごしください。